

第14回愛媛クリニカルパス研究会  
肺切除術パスの現状と今後の課題

松山赤十字病院  
36病棟 竹田 あきほ

- ▶ パスの概要
- ▶ 現状・分析
- ▶ 今後の課題・対策

肺切除術パスの概要

呼吸器外科で使用中のパスの種類

- ▶ 開胸・胸腔鏡補助下 肺切除術  
(右肺、左肺・入院日別)
- ▶ ブラ切除術 (気胸手術)  
(右肺、左肺)
- ▶ 分子標的薬 (EGFR-TKI) 導入パス  
(タルセバ、イレッサ、ジオトリフ、タグリッソ)

現状と分析

1. パス適応状況
2. アウトカム評価率
3. アウトカム評価の質
4. クリニカルパスの効果

## 1.パス適応状況

<期間> H28.4.1~H29.3.31

肺切除パス使用件数：129例

中止：2例

逸脱：6例

### <中止>

- ・使用パスの間違い
- ・手術延期

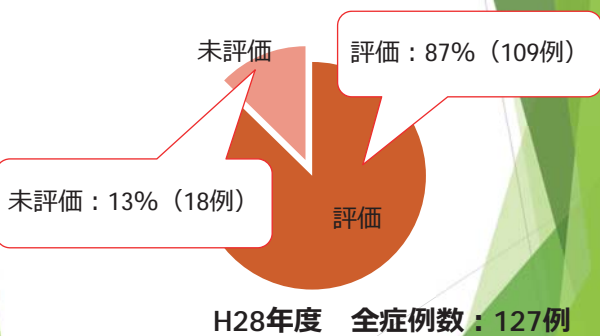
### <逸脱>

- ・膿胸
- ・乳糜胸
- ・肺痿遅延
- ・不明熱

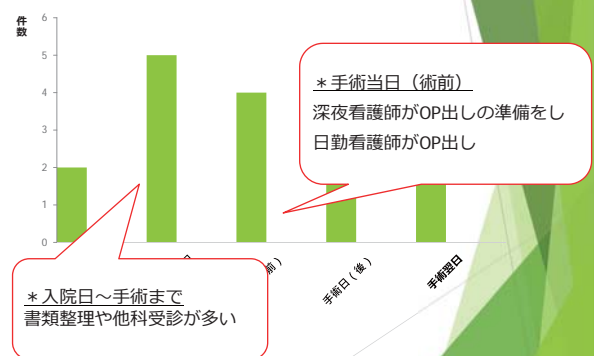
## 倫理的配慮

- ▶ 今回、得られたデータは調査目的以外に使用しない
- ▶ 個人情報の漏洩防止のため、個人が特定されないようにデータ化し、管理・取扱いを行った
- ▶ 調査後、得られたデータは鍵付き棚に保管し、紙媒体はシュレッダー処理とした

## 2.アウトカム評価率



## アウトカム未評価件数



## 対策

### パス内容の周知徹底

- ・パスの内容に関する勉強会の実施

### 退院時のチェックの徹底

- ・スタッフへの声かけをし、退院時に確認する意識・習慣付け
- ・必要時、退院時チェックリストの見直し

## 3.アウトカム評価の質

本当に!?

アウトカム総数5552件中、未達成9件のみ

正しい評価：未達成 → 実際の評価：達成

アウトカムの評価が  
正しくできていない!!

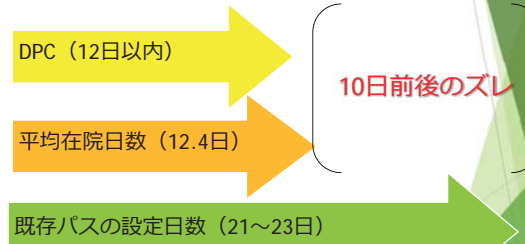
## 対策

### パスの知識向上

- 勉強会の実施（評価方法やバリエーションについて）
- 院内パス大会への参加の促し

## 4. クリニカルパスの効果

### 1) パス日程



## 問題と対策

術前

術後

入院

パス設定日数の短縮・アウトカムの再検討

## 2) 新規パスについて

診療報酬改定  
患者割合

15%



25%

C項目の新設  
「開胸手術（7日間）」  
↓  
術後7日間が該当するため  
必要度が取れる

C項目の新設

術前は必要度がとれない

家族の負担も大きい

術前期間の短縮

前日入院パスを新規作成

## 原因

- ▶ 手術2日前（月曜日・木曜日）
  - ・採血、胸写
  - ・手術オリエンテーション
- ▶ 手術1日前（火曜日・金曜日）
  - ・他科受診（麻酔科、歯科、リハビリ科）
  - ・手術室看護師による術前訪問
  - ・ICU看護師によるICU入室オリエンテーション

1日に短縮

スケジュールが過密で患者・家族に負担  
医療者側の業務も多忙

## 対策

パスの日数短縮・アウトカムの再検討



術前業務の見直し

## 今後の課題・取り組み

- ▶ 未評価の減少
  - ・退院時の未評価、終了、評価の徹底
  - ・パス内容の周知徹底
- ▶ アウトカム評価の質の向上
  - ・勉強会の実施、パスの知識向上、パス大会への参加
- ▶ 肺切除術パスの修正
  - ・ステップ期間の見直し、アウトカムの再検討
- ▶ 新規作成パスの使用数アップ
  - ・術前の業務の見直し

ご清聴ありがとうございました

